



銀山街道・陰陽結ぶ銀の道

地域資源を活かした広域的な地域づくりを目指して



令和5年度 第1回 日本風景街道大学 (令和6年2月22日in愛知県田原市)

銀の道広域連携実行委員会

棗田 澄子



銀山街道・陰陽結ぶ銀の道

地域資源を活かした広域的な地域づくりを目指して



大田市【大森代官所跡】



美郷町【十王堂付近竹林】



世羅町【大田庄】



尾道市【浄土寺山展望台から】



飯南町【森林セラピー】



三次市【鶺鴒】



府中市【出口通り】



福山市【鶺鴒の浦】



笠岡市【干拓地とひまわり】



井原市【与一を偲ぶ古典芸能祭】

●活動エリア

戦国時代後期から江戸時代前期にかけて、最盛期には世界の銀の約3分の1を産出したと言われる「石見銀山」。その「石見銀山」で産出された銀鉱石や銀地金を荷出港である鞆ヶ浦、温泉津(共に島根県)、尾道(広島県)、笠岡(岡山県)へ陸路で運ぶために利用されていたのが「銀山街道」です。

島根県・広島県・岡山県の3県にまたがった「銀山街道」沿線10市町が活動エリアです。

●地域資源

「銀山街道」は、長年の環境変化により当時の道からは様変わりしているものの、部分的に古道として残されています。

歴史の息づく大自然の中を歩く「やなしお道」や、3本の川が合流する水陸交通の要衝として栄えた三次市の「鶺鴒」、中国山地の分水嶺にあたる峠や律令時代に国府が置かれた古都府中など、歴史的景観や風土を残すところが数多く残されている他、雄大な自然が感じられる景観なども魅力です。

【登録】平成25年11月5日(火)風景街道登録証交付式

■地域の推進体制

銀の道広域連携実行委員会

民間

沿線地域の民間団体(23団体)

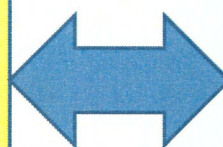
NPO法人、ガイドの会、道の駅、観光施設など

NPO法人ひろしまね、島県立大学総合政策学部、石見銀山ガイドの会、美郷町銀山街道を護る会、飯南町銀山街道を訪ねる会、三次町歴みち協議会、吉舎町体験交流旅づくりの会、NPO法人広島・せらマルベリークラブ、尾道地域SNS研究会、街道ネットワーク尾道、にぎわいづくりネットワーク会議、石州街道・出口まちづくり協議会、じばびと@福山、この指とまれネットワーク委員会、道の駅赤来高原、井原線まちおこしネット、布野特産センター、(株)三次ワイナリー、備北観光ネットワーク協議会、平田観光農園、世羅高原農場、NPO法人元気むらさくぎ、綾田ふる里の会

行政

銀山街道沿線市町等連携協議会

《委員》 (島根県) 大田市、飯南町、美郷町
(広島県) 三次市、世羅町、尾道市、府中市
(岡山県) 笠岡市
《オブザーバー》 (広島県) 福山市、(岡山県) 井原市
《顧問》 中国経済連合会、中国地方整備局、
松江国道事務所、浜田河川国道事務所、
三次河川国道事務所、福山河川国道事務所、
岡山国道事務所、広島県、島根県、岡山県、



協働
協力

■地域のねらい

- 中世を中心に銀を世界に運んだ「銀山街道」。この「銀山街道」という共通のテーマのもと、沿線の自治体や地域づくり活動者などが、一体となった広域的な地域づくりを目指す。

■最初のプロジェクト

○、銀の道フェスティバル (飛脚プロジェクト)



東日本大震災の義援金をもって、飛脚の衣装をまとったランナーが交代で銀山街道を走り向きました。こらは、募金を集めるだけでなく、沿道に数多く存在する歴史・文化・自然を再発見し、人々の温かい心をつなぐプロジェクトを行い日本風景街道認定を目指す動きにつながった。

○ 走行日・コース

- 5月29日①やなしおコース
- 7月2日 ②美郷飯南コース
- 7月31日③大田コース
- 8月20日④三次コース
- ⑤尾道世羅コース
- ⑥笠岡神辺コース
- 8月21日⑦神辺府中コース
- ⑧吉舎府中コース

の7コース、230kmを走破しました

400年のときをこえ、いまひとつに

江戸時代前期から、銀だけでなく人やモノ、情報を運び、沿道の歴史・文化を育んできた銀山街道。四百年のときをこえ、銀山街道沿いのまちが一体的で活力ある地域づくりを目指し、今ひとつになる。

2011年8月21日(日)
10:00~15:00
府中市お祭り広場
広島県府中市お祭り広場 97

フェスティバル内容
●銀山街道沿道地域のPRビデオ上映 ●飛脚しるしのビデオを上映
●各地域の特産品等を販売 ●飲食コーナー ●募金コーナー

大田市：江戸幕府が置いた大蔵代官所跡
三次市：伝統漁法 三次の鰯網
笠岡市：大塚と大地のひまわりカーニバル
美郷町：虹色の灯りをもとむ竹灯籠
府中市：出陣の風情を今も残す石州藩軍口通り
井原市：年々復活する古典舞臺
飯南町：森林セラピー
尾道市：海士山展望台から見る夕日
福山市：「備前ち・高待ちの港」として栄えた瀬の浦

「飛脚プロジェクト」とは、フェスティバルの一環として、「飛脚」の衣装をまとったランナーが交代で街道を走り、各地で集めた東日本大震災の義援金(目標)を持って府中市を目指します。これは募金を集めるだけでなく、沿道に数多く存在する歴史・文化・自然を再発見し、人々の温かい心をもつなぐプロジェクトです。

主催：銀の道フェスティバル実行委員会 事務局 0847-43-4798
後援：国土交通省中国地方整備局、夢街道ルネサンス推進会議、大田市・美郷町・飯南町・三次市・世羅町・府中市・尾道市・福山市・井原市・笠岡市

この事業は中国経済発展基金の助成を受けています。
この事業に関する情報は、NPO法人府中アンテナが運営する「マツみる府中」でご覧いただけます。
<http://tuchu-antenna.jp/>

■これまでの活動



一、歩く、知る

「銀山街道」の全線を歩き、観光活用に向けたルートの確認、古道、石碑、史跡などの資源調査を実施。

3年がかりの検証の旅路は総延長約230km。沿線の自然や地形、関連する歴史も学びながら踏破しました。結果は「実録集」としてまとめています。

H27.9.19~9.22

大森～尾道 約150km 参加者:延べ31名

H28.10.29~10.30

宇賀～出口 約 40km 参加者:延べ43名

H29.5.27~5.28

出口～笠岡 約 40km 参加者:延べ42名



すげがさ姿で大森の街中を歩く参加者たち



大森→尾道147.4キロスタート

広域連携 観光活用へルート検証

参加者が歩くのは、日本風景街道に登録されている「石見銀山街道尾道道」。

世界遺産・石見銀山遺跡の中心にある大田市大森町から広島県尾道市まで、江戸時代に銀を運んだルートに沿って、147.4キロを当時と同じ3泊4日ですぐに歩く「銀の道を歩きたび」が19日始まった。初日は大田市や美郷町、広島県世羅町など沿線7市町から20人が参加し、大森町をスタートして所々に残る古道などを歩いた。(福岡崇広)

大

「石見銀山街道尾道道」は「健康づくりや歴史探訪に最適な道。多くの人に歩いてもらうことで、沿線の交流を活性化させていきたい」と話した。

証を目的に初めて企画した。来年度以降、一般向けのウォーキングイベントを行う予定で、道を紹介するマップも作製する。

この日は、同市大森町の石見銀山資料館前で、同館の仲野義文館長が「政治的にも経済的にも重要な道。当時のにぎわいを感じながら歩いてほしい」と激励。参加者は銀の道をPRするのほり旗を掲げて出発し、古民家などが立ち並ぶ街中をゆっくりと進んだ。

2日目以降、一部メンバーが入れ替わるが、7人が踏破する予定という。

企画した同実行委員会銀の道を歩きたび部会の岡本信正部会長(66)は「広島県世羅町は健康づくりや歴史探訪に最適な道。多くの人に歩いてもらうことで、沿線の交流を活性化させていきたい」と話した。

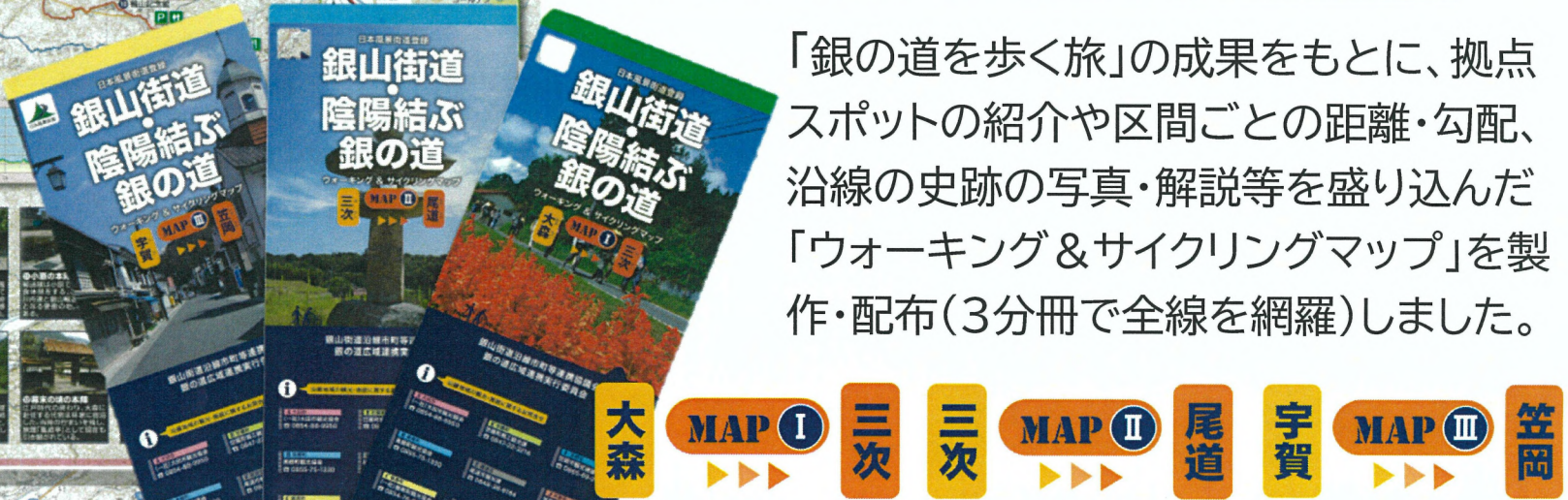
銀の道3泊4日歩く旅



■これまでの活動

二、見てもらう、知ってもらう

「銀の道を歩く旅」の成果をもとに、拠点スポットの紹介や区間ごとの距離・勾配、沿線の史跡の写真・解説等を盛り込んだ「ウォーキング&サイクリングマップ」を製作・配布(3分冊で全線を網羅)しました。



配布先
連携協議会8市町、実行委員会メンバー、観光協会等

印刷部数
2019年まで:150部、2020年:200部

街道整備

旧街道の調査や整備(草刈り等)を行い、分岐点などに道しるべ看板を設置。

■これまでの取り組み例

■銀の道 行事の例

石見銀山街道の沿線地域における街道の認知度の向上、沿線地区住民の待望機運の醸成を目的として開催しています。

令和元年12月15日(日)

「令和の差立」 国史跡石見銀山街道を往く

場所：島根県美郷町

参加：約60名

- ・ 当時の銀の輸送隊を 模した衣装に仮装し、約4時間の「差立」（輸送）を体験



牛と一緒に歩くことで歴史を体験

令和元年11月30日(土)

府中市坂根峠越えウォーク

場所：広島県府中市

参加：約20名

- ・ 難所「坂根峠」越えの約10kmを4時間半かけてウォーキング(参加者にカレンダーを贈呈)



ウォーキング後に総会&懇親会
(カラオケ)

令和5年度の活動

銀の道 行事一覧(令和5年度)

月日	行事	内容	団体・場所	備考・参加者
令和5年3月11日	銀の道を歩く会・設置記念ウォーク	世羅町別所～赤屋	銀の道を歩く会	40名
令和5年4月5日	銀山街道{三次市布野バスツアー}	広島発、三次市布野を歩く	広域連携実行委員会	20名
令和5年5月15日	尾道地区広域案内板設置・除幕式	尾道市・道の駅「御調」において除幕式をした	尾道市長・国土交通省福山河川国道事務所長出席	関係者20名(中国新聞掲載)
令和5年7月21日	銀の道広域連携実行委員会総会	今年度の方針(カレンダー、ウォーキング、広域案内板設置、銀の道バスツアー)	世羅町会議室	10名
令和5年7月31日	銀山街道沿線市町等連携協議会第1回連絡調整会議	今年度の方針(事務局会議)	ウェブ会議	10名
令和5年7月31日	銀山街道沿線市町等連携協議会総会	今年度の方針	ウェブ会議	15名
令和5年9月24日	銀山街道道普請	尾道市宇根地区整備	銀山街道保存会	20名
令和5年10月22日	銀の道を歩く会・設置記念ウォーク	尾道市宇根～御調市	銀の道を歩く会	15名
	銀山街道ウォーキング	やなしお地区を歩く	美郷町守る会	30名
	銀山街道ウォーキング	横谷地区を歩く	横谷自治連合会	10名
令和5年10月1日	銀山街道ウォーキング	赤名地区を歩く	赤名公民館	100名
令和5年10月4日	銀山街道{飯南町赤名バスツアー}	広島発、飯南町赤名を歩く	広域連携実行委員会	20名
令和5年11月30日	銀の道カレンダー(2023年版)完成頒布	2022.12-2024.1 は会員持ち寄り	広域連携実行委員会	500部
令和5年11月1日	大田地区広域案内板設置・除幕式	大田市・道の駅「仁摩」において除幕式をした	大田市長・国土交通省松江国道事務所長出席	関係者20名
今後の予定				
令和6年2月24日	日本風景街道大学(in愛知県)(後援:国土交通省道路局)	中国地区代表として事例発表	広域連携実行委員会	200名
令和6年3月22日	銀の道を歩く会・設置記念ウォーク	大田市大森銀山・温泉津	銀の道を歩く会	15名
ウォーキングは報告のあったもののうち一例のみ				

令和2年度～の活動

銀の道カレンダーの製作・配布



沿線市町の連携と魅力の発信を目的に製作・配布。それぞれの地域の美しい風景や名所が描かれた各月の挿絵や写真の製作は、直営で実施し、販売収益は活動資金に充当しています。
(毎年作成し500円で頒布)

「銀の道」PR看板の設置 (道の駅との連携)



「銀山街道」の魅力を広く周知するための広域案内看板を、沿線の道の駅に設置を進めており関係市町に順次展開中。令和6年2月現在、6市町に設置しました。

■第1号 銀の道広域案内板設置(道の駅「ゆめらんど布野」)

銀の道広域案内板の**第1号**として、三次市の道の駅「ゆめらんど布野」に広域案内板を設置。除幕式には、三次市長、国土交通省三次河川国道事務所長、中国建設弘済会理事長にも、お忙しい中参列頂きました。

【除幕式日】 令和3年7月4日

【主催】 銀の道広域連携実行委員会

【設置場所】 道の駅「ゆめランド布野」

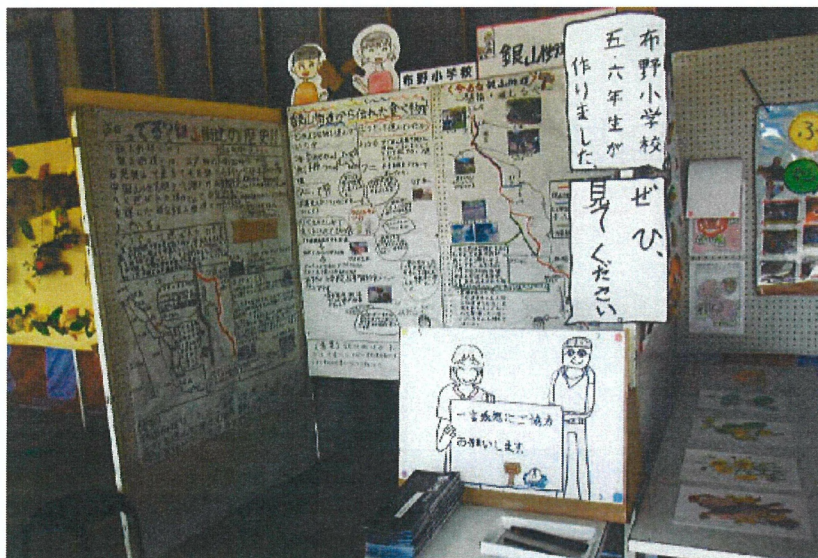


地域でも、「銀山街道」を知る、知ってもらう活動が広がっています。

■われら銀山街道調査探検隊
(三次市立布野小学校5,6年生)



総合学習の時間で「銀山街道」を調べ、地域の人たちに伝える、広げることを目的に学習。



実際に街道を歩き、学習したことをまとめ、「ふるさと祭り」で展示、布野小フェスタ」でも発表。

■今後の活動の展開

一、歩く、知る

銀の道縦断ウォーク

地域の案内標識を各地のわかりにくいところに設置全個所を広域ウォーキングとして実施中



二、見てもらう、知ってもらう

銀の道マップの作製、配布、増刷

道の駅など観光拠点に銀の道広域案内板設置
銀の道カレンダーの一作製、配布、増刷



三、もっともっと知ってもらう、 人を呼び込む

観光バス会社に広宣

広島旅行会社(旅マチゲート:旧中国新聞旅行社、広電観光)と連携し広島発の観光バスツアーを実施中

○令和2～6年度銀の道広域連携実行委員会アクションプラン

令和2年度～6年度(計画)	
【壺】	<p>ツアーガイド養成、&、連携の実査</p> <p>銀の道縦断ウォーク</p> <p>銀を運んだコース、代官が歩いた道を緩やかにあるく(一泊二日で歩く「年2回」)</p> <p>(銀の旅)①大森-十日市、②十日市-三次、③三次-世羅、④世羅-尾道、(代官の旅)⑤吉舎-府中、⑥府中-笠岡⑦大森-温泉津、鞆が浦</p>
【弐】	<p>ツアー導入に向けて</p> <p>観光バス会社に広宣</p> <p>①広電観光、②一畑観光、③中国観光、④おのみちバスにプレゼン</p>
【参】	<p>(施設整備) 銀の道広域の案内について</p> <p>道の駅など観光拠点に銀の道広域案内板設置</p> <p>①布野、②赤名、世羅、御調、府中・・・</p>
【四】	<p>(施設整備) 地域の案内標識整備</p> <p>地域の案内標識を各地のわかりにくいところに設置</p> <p>活動家の方が、道普請をしてくださっているところを中心に案内標識を整備していく</p>
【五】	<p>(広報媒体) マップの作製</p> <p>銀の道マップの作製、配布、増刷</p> <p>①大森・三次間、②三次・尾道間、③吉舎・笠岡間の3部作</p>
【六】	<p>(広報媒体) カレンダーの作製</p> <p>銀の道カレンダーの作製、配布、増刷</p> <p>大森～尾道、甲奴～笠岡の関係各地の風景を題材にカレンダーを作り有料頒布する</p>
【七】	<p>(連携) 銀の道広域連携について</p> <p>委員会・関係機関との連携会議・広報活動</p> <p>総会・市町会議・広報活動により関係各位と幅広く連携する</p>

■銀の道 広域案内板設置年次計画表

	R3	R4	R5	R6	R7	設置場所 今後調整
大田市						道の駅仁摩
美郷町						観光協会前
飯南町						道の駅赤来
三次市 (北部)						道の駅布野
三次市 (南部)						道の駅布野
世羅町						世羅町内
尾道市						道の駅御調
府中市						こいしき付近 公園
笠岡市						笠岡市内
福山市						神辺付近
予算個所	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所	10か所

■三次市に設置する広域案内板

※令和3年7月4日に除幕式

(三次市長、国土交通省三次河川国道事務所長出席)

■府中市に設置する広域案内板

※令和3年12月19日に除幕式

(府中市長、国土交通省福山河川国道事務所長出席)

■飯南町に設置する広域案内板

※令和4年7月15日に除幕式

(飯南町副町長、国土交通省松江国道事務所長出席)

■世羅町に設置する広域案内板

※令和4年11月29日に除幕式

(世羅町長、国土交通省福山河川国道事務所長出席)

■尾道市に設置する広域案内板

※令和5年5月15日に除幕式

(尾道市長、国土交通省福山河川国道事務所長出席)

■大田市に設置する広域案内板

※令和5年11月1日に除幕式

(大田市長、国土交通省松江国道事務所長出席)

■銀の道 広域ウォーキング大会年次計画表

	R3	R4	R5	R6	R7	歩く会実施場所
大田市						石見大森銀山
美郷町						やなしお
飯南町		(9月)				赤名宿周辺 (14人)
三次市	(10月)					布野宿周辺 (14人)
世羅町			(3月)			世羅町内
尾道市			(10月)			道の駅御調
府中市						こいしき付近 (14人)
笠岡市						笠岡代官所他
福山市						神辺本陣付近
予算個所	1か所	1か所	2か所	2か所	2か所	10か所

■銀の道各地から参集～三次市布野周辺散策
※令和3年10月10日にウォーキング実施

■銀の道各地から参集～飯南町赤名周辺散策
※令和4年9月24日にウォーキング実施

■銀の道各地から参集～世羅町別所周辺散策
※令和5年3月11日にウォーキング実施

■銀の道各地から参集～尾道市御調町周辺散策
※令和5年10月22日にウォーキング実施



銀の道 広域観光バスツアー年次計画表

	R4	R5	R6	R7	R8	バスツアー箇所
大田市						石見大森银山
美郷町			(10月)			旧代官所周辺
飯南町		(10月)				赤名宿周辺 (14人)
三次市		(4月)				布野宿周辺 (14人)
世羅町			(4月)			世羅町内
尾道市						道の駅御調
府中市	(10月)					こいしき付近 (14人)
笠岡市						笠岡代官所他
福山市 オブ参加						神辺本陣付近
予算箇所	1 か所	2 か所	2 か所	2 か所	2 か所	9 か所

- 広島駅新幹線口7時発～府中町出口周辺観光
※ 令和4年10月6日にバスツアー実施
- 広島駅新幹線口7時発～三次市布野周辺観光
※ 令和5年4月5日にバスツアー実施
- 広島駅新幹線口7時発～飯南町赤名周辺観光
※ 令和5年10月4日にバスツアー実施

■今後の活動ビジョン

●基礎的イベントの継続

地域の機運醸成、地域間の連携強化

●街道の維持・整備

歴史資源の保存と活用

●道の駅との連携

案内看板の設置・広域的な広報

●広島市発観光バスツアーの実施

域外の観光客の取り込みを図る

●観光ツアー商品の開発

バス会社や旅行会社とのタイアップ

●来訪者の周遊促進のための企画

デジタルスタンプラリーなど

資金の確保が難しい。整備を必要とする旧街道は赤道や民地が多く、自治体の道路整備等の名目による協力が得られにくい。

<支援やアドバイスが必要な分野>

- ①観光(企画開発)
- ②広報活動の高度化(SNS)
- ③資金調達
- ④道路管理者と連携
- ⑤関係市町との連携

具体的で効果的なツアー商品の開発、バス会社や旅行会社への売り込み、SNSや民間企画の活用など、基本的なノウハウや知識がない。



銀山街道・陰陽結ぶ銀の道

地域資源を活かした広域的な地域づくりを目指して



～花が彩る潮騒のエコガーデンロード～
渥美半島菜の花浪漫街道

日本風景街道大学 菜の花田原キャンパス

これまで全国各地で開催されてきた日本風景街道大学。今回は「時代の変化を見据えた日本風景街道の目的とは何か!？」をテーマに、菜の花が咲き誇る早春の愛知県田原市で日本風景街道大学・菜の花田原キャンパスを開催します。

2024年 2月22日(木) 会場 田原文化会館

日本風景街道フェア 11:00～18:00 シーニックマルシェ、フラワーフォレスト
ポスターセッション 無料 一般参加可

日本風景街道大学・菜の花田原キャンパス 13:00～17:30 開催地報告、全国先進事例報告
深掘り討論、分科会 要事前申込

2024年 2月23日(金・祝)

エクスカーション 8:30～14:00 自転車コース 要事前申込
バスコース 要事前申込



【主催】日本風景街道大学・菜の花田原キャンパス実行委員会 【後援】国土交通省
(事務局)愛知県田原市役所 街づくり推進課 都市政策係内 愛知県
Tel 0531-23-3535 Fax 0531-22-3811
E-mail machi@city.tahara.aichi.jp

日本風景街道とは？

国土交通省が展開する事業で、道庁等に、多様な主体による協働のもと、地域資源を活かした美しい国土景観の形成を図り、観光の振興や地域の活性化に資することを目的としています。
令和5年4月現在、全国で145ルートが登録されています。



渥美半島菜の花浪漫街道とは？

早春に菜の花が咲き誇る7つのメインロード、国道47号と国道29号によって渥美半島を巡る約160kmのルートです。愛知県には田原市と豊田市の2ルートが登録されています。渥美半島菜の花浪漫街道は平成19年に日本風景街道に登録されました。



ご聴講ありがとうございました